

大体大はSO・三瀬が3本のPGを決めるもノートライに終わる

近大に逆転負け

第4節:近 大19—9大体大

後半、スクラムで
押す大体大(右)

大体大今季の残り試合日程

- 第5節(11月4日):対同 大@宝ヶ池、12時～
- 第6節(11月10日):対天理大@鶴見緑地、14時～
- 第7節(11月24日):対立命大@西京極、14時～

関西大学ラグビーAリーグの第4節が10月28日、天理親里ラグビー場で行われ、大体大(2勝1敗)は、近大(1勝2敗)に9-19で敗れた。大体大の第5節は4日正午から、宝ヶ池公園運動施設球技場で同大と対戦する。【学生記者 増田知己、写真も】



雨が降りしきる中行われた近大との一戦は、大体大が誇る重量級FW陣の力を十分に発揮できないまま試合を終えた。坂田好弘監督は「(大体大は)現時点ではこういう試合」とサバサバした様子だった。

この試合は終始、近大に攻められパスを回される時間帯が多かった。しかし、先に得点を決めたのは大体大だった。

前半11分、ゴール手前22メートルからSO・三瀬憲二郎(体育3年)の悪天候の影響を感じさせない精度の高いPGで3点を先取した。

この先制点で大体大のペースが変わるかと思われたが、同30分、右ゴール10メートル前から押し込まれ逆転トライを許した。コンバーションゴールを決められて3-7とされた。

同39分に、負けじと三瀬がゴール手前30メートルから再びPGを決めて1点差とするが、追撃及ばず前半を6-7で終えた。

坂田監督は「前半はスクラムで流れを変えられた。ちよとしたところで流れが変わった」と振り返った。

後半、大体大に開始早々に逆転好機が訪れた。ゴールライン5メートル手前でのスクラム。この日、大体大がトライに一番近づいた場面だった。しかし、大体大の超重量級FW陣をもってしても近大のスクラムを崩し切れなかった。

指揮官は「あそこで(トライを)取ってれば流れを呼び寄せられた」。

この日最大のチャンスをものに出来なかった大体大に、勝利の女神は振り向いてくれなかった。

後半30分にも近大にトライを許して6-12、同34分に三瀬がこの試合3本目のPGを決めたが、同42分にダメ押しのトライとコンバーションゴールを許して万事休す。

PR・蔵守吉彦主将(同4年)は「悔しい」と肩を落としたが、「FW陣について個々の力はある。精神的な問題。後は一戦一戦死に物狂いで頑張るだけ」と次の試合を見据えていた。

坂田監督は「強くなってきた。勢いは大体大の方があつた。(結果を出せないのは)若いせいなのか...」と精神面での成長を課題に挙げた。

次戦は宿敵・同大戦。大体大へラクレス軍団」を象徴するFWの奮起に期待したい。

関西大学ラグビーAリーグ順位表

(10月28日終了時点)

- ①立命大 4勝0敗
- ②天理大 4勝0敗
- ③関学大 2勝2敗
- ④**大体大 2勝2敗**
- ⑤近 大 2勝2敗
- ⑥京産大 1勝3敗
- ⑦同 大 1勝3敗
- ⑧摂南大 0勝4敗

※同勝敗は得失点差による順位

前半39分、PG
を決める三瀬



今季2敗目を喫し、足取りの重たい大体大(左)